

演題9. 歯周ポケットより分離した溶血レンサ球菌の
定量と菌種の分布○田近志保子, 金子 克, 八重樫 隆*
富樫 正幸*, 上野 和之*岩手医科大学歯学部口腔微生物学講座
※岩手医科大学歯学部歯科保存学第二講座

1993年12月から1994年2月の期間に、本学第二保存科外来を訪れた歯周炎患者18名の歯周ポケットより、無菌的にペーパーポイントで採取した滲出液と、歯垢を材料としてレンサ球菌を分離した。今回は、 α 、 β 、 γ 溶血別に菌数を定量し、菌種を同定して分布を調べたので報告する。 α 溶血レンサ球菌はすべての検体から分離したが、 β 溶血レンサ球菌は滲出液20検体中13検体(65.0%)から、歯垢20検体中5検体(25.0%)から分離した。 γ 溶血レンサ球菌は滲出液20検体中12検体(60.0%)、歯垢は20検体中13検体(65.0%)から分離した。分離した α 溶血レンサ球菌の菌種は、*Streptococcus gordonii*, *S. sanguis*, *S. mitis*, *S. oralis*, *S. mutans*, β 溶血レンサ球菌では*S. anginosus*, γ 溶血レンサ球菌では、*S. intermedius*, *S. constellatus*の順であった。材料別に分離率をみると、滲出液では*S. anginosus*, *S. mitis*, *S. intermedius*, *S. sanguis*, *S. oralis*, *S. constellatus*の順であった。歯垢では*S. sanguis*, *S. gordonii*, *S. mitis*, *S. intermedius*, *S. constellatus*, *S. anginosus*, *S. mutans*の順であった。